

朝会のお話

ふれあい月間

おはようございます。

6月は「ふれあい月間」です。6月はいじめや暴力などをなくすためにいろいろなことをしていきます。

学校で最も大切なことは、誰もが安心して通うことができることです。どんなに勉強ができて、どんなに運動ができて、いじめや暴力がたくさんある学校では行きたくなくなってしまう。いじめのない、みんなが仲の良い学校をつくっていきたいと思います。

いじめと言ってもいろいろあります。

低学年で多いいじめは、悪口や暴力です。人のいやがることを言う、たたいたり、けったりする。されたことのある人も多いと思います。

高学年になると、悪口や暴力などは少なくなり、陰口や無視など表面に見えないいじめが多くなります。特に多いのが無視です。

どのようなことでも、自分がされたらどのような気持ちかということをよく考えてほしいと思います。悪口を言われてうれしい人も、無視されてうれしい人もいません。

人の悪口を言うと、同じ分だけ人から自分の悪口を言われていると思ってください。人の陰口を言うと、同じ分だけ人から自分の陰口を言われていると思ってください。そう思って悪口や陰口を言わなければ、悪口や陰口はなくなります。

それから、いじめや暴力があるのを知っているのに、だまって見ていたら、それはいじめや暴力をしているのと同じことになります。「そんなことをしたらだめだよ」と注意してほしいと思います。その場で注意できない時は、先生やおうちの人など大人に知らせてください。

いじめに限らず、困ったことや悩みごとがあるときは、相談しましょう。「ふれあい月間」では、皆さんの困りごとや悩みごとをアンケートや面接で聞きます。秘密は守りますし、そのことで叱ったりしないので、正直に書いてほしいと思います。相談する相手は担任の先生だけでなく、前の担任の先生、学年の先生、保健の先生、校長先生にだってできます。一番相談しやすい人に相談してください。学校にはスクールカウンセラーという相談にのってくれる専門の先生も2人います。室星先生と長谷川先生ですが、どちらの先生ともとても優しく、話をよく聞いてくれます。困ったことや悩みごとがあるときは一人で抱え込まず、ぜひ相談してください。

それでは、今週も悩みごとを少なくして、友達と仲良く過ごしましょう